

FIHR US Core IG概要

資料作成

大江

2019.10.18 WG資料

翻訳文はGoogle翻訳のままのものが大半です

US Core Implementation Guide

- US Core Implementation GuideはFHIRバージョンR4に基づいており、患者データにアクセスするための最小適合要件を定義しています。
 - アルゴノートのパイロットの実装、
ONC 2015版の一般的な臨床データセット（CCDS）、
および最新の提案ONCの相互運用性（USCDI）のための米国Core Data
は、このガイドの要件を提供します。
 - FHIR DSTU2に基づく以前のArgonaut検索および語彙要件は、このガイドでFHIRバージョンR4をサポートするように更新されています。これらのプロファイルは、将来のUS Realm FHIR実装ガイドの基盤です。Argonautに加えて、それらはDAF-Research、QI-Core、およびCIMIによって使用されます。HL7およびHL7 USレلم運営委員会の指導の下、コンテンツは将来のバージョンで拡張され、USレلم固有のニーズに対応します。
- これらの要件は、元々、国立医療情報技術コーディネーター（ONC）が後援するデータアクセスフレームワーク（DAF）プロジェクトの一部としてFHIR DSTU2で開発、投票、および公開されました。DAFがUS Coreになった方法の詳細については、US Core変更ノートを参照してください。

ガイドの読み方

- [ホーム](#)：ホームページには、HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3の概要と背景が記載されています。
- [ガイダンス](#)：これらのページは、このガイドで定義されているプロファイルとトランザクションの使用に関する全体的なガイダンスを提供します。
 - [一般的なガイダンス](#)は、このガイドで使用するすべてのHL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3アクターに共通のガイダンス、定義、および要件を提供します。
 - [臨床ノートガイダンス](#)は、臨床ノートの消費者と生産者の間の相互作用に関するガイダンスを提供します。
 - [HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3の今後]は、HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3に新しいコンテンツを追加するアプローチの概要を説明しています。
- [プロファイルと拡張機能](#)：このページには、このガイドで品質データを交換するために定義されているプロファイルと拡張機能のセットがリストされています。各プロファイルページには、物語の紹介、正式な定義、および各HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3プロファイルでサポートされる検索トランザクションの「クイックスタート」ガイドが含まれています。

ガイドの読み方 (続き)

- [検索パラメーターと操作](#)：このページには、HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3で定義された、USコアトランザクションで 사용되는操作と検索パラメーターがリストされています。
- [用語](#)：このページには、HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3プロファイル用に定義された値セットとコードシステムがリストされています。
- [機能声明](#)：このページのセットは、さまざまなHL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3アクターの予想されるFHIR機能について説明しています。
- [セキュリティ](#)：HL7FHIR®USコア実装ガイドSTU 3アクターの一般的なセキュリティ要件と推奨事項。
- [例](#)：このガイドで使用されているすべての例へのリンクのリスト。
- [ダウンロード](#)：このページには、ダウンロード可能なアーティファクトへのリンクがあります。

コアアクター US Core Actor

- 次のアクターは、US Core IGの一部です。
 - **US Core Requestor**：患者データを取得するためにデータアクセス要求を開始するアプリケーション。これは、クライアントとサーバーの対話におけるクライアントと考えることができます。
 - **US Core Responder**：患者データを提供するデータアクセス要求に応答する製品。これは、クライアントとサーバーの対話におけるサーバーと考えることができます。

米国のコアプロフィール

- 各プロフィールは、最小必須要素、拡張および用語要件
- 各プロフィールの要件とガイダンスは、簡単な記述の要約で提供されます。
- 差分ビューとスナップショットビューの両方でコンテンツの[論理ビューを表示](#)する正式な階層テーブルも、適切な用語とサンプルへの参照とともに提供されます。
- 各USコアプロフィールについて、必要なRESTful FHIRインタラクションのセットの概要（検索操作や読み取り操作など）がプロフィールページのクイックスタートセクションで提供されます。

US Core Profiles

24個

1. US Core AllergyIntolerance Profile
2. US Core CarePlan Profile
3. US Core CareTeam Profile
4. US Core Condition Profile
5. US Core Device Profile
6. US Core DiagnosticReport Profile for Laboratory Results Reporting
7. US Core DiagnosticReport Profile for Report and Note exchange
8. US Core DocumentReference Profile
9. US Core Encounter Profile
10. US Core Goal Profile
11. US Core Immunization Profile
12. US Core Laboratory Result Observation Profile

1. アレルギー
2. ケアプラン
3. ケアチーム
4. コンディション（患者状態・病態等）
5. デバイス
6. 検査結果報告用の診断レポート
7. レポートとノート交換用の診断レポート
8. DocumentReference
9. Encounter Profile
10. ゴール
11. 予防接種プロファイル
12. 検査結果Observation

13. US Core Location Profile	13. ロケーション プロファイル
14. US Core Medication Profile	14. 処方投薬 プロファイル
15. US Core MedicationRequest Profile	15. 処方オーダー プロファイル
16. US Core MedicationStatement Profile	16. 医薬品ステートメント プロファイル
17. US Core Organization Profile	17. 組織 プロファイル
18. US Core Patient Profile	18. 患者 プロファイル
19. US Core Pediatric BMI for Age Observation Profile	19. 年齢ごとの小児BMI観察 プロ ファイル
20. US Core Pediatric Weight for Height Observation Profile	20. 小児用の身長体重観察 プロファ イル
21. US Core Practitioner Profile	21. 医療者 プロファイル
22. US Core PractitionerRole Profile	22. 医療者ロール プロファイル
23. US Core Procedure Profile	23. 処置施術プロファイル
24. US Core Smoking Status Observation Profile	24. 喫煙状態観察 プロファイル

3.5.1 StructureDefinition-us-Core-アレルギー不耐性

このプロファイルは、患者に関連付けられたアレルギー/副作用を記録、検索、および取得するための [AllergyIntolerance](#) リソースの最小期待値を設定します。これは必須のコア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する **SHALL**、このプロファイルを使用する場合 [AllergyIntolerance](#) リソースで存在することがあります。

使用シナリオの例：

US Core AllergyIntolerance プロファイルの使用シナリオの例を以下に示します。

- 患者に属するアレルギーのクエリ
- 患者のアレルギーを記録または更新する

3.5.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を [サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の [正式なプロファイル定義](#) は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

AllergyIntoleranceには次のものがが必要です。

1. アレルギーの状態*
2. 患者が何にアレルギーがあるかを伝えるコード
3. 患者

*ステータス要素には次の制約があります。検証ステータスがエラーになっていない場合は存在し、検証ステータスがエラーになっている場合は存在しません。

各 **AllergyIntolerance** は以下をサポートする必要があります：

1. 確認ステータス

3.2.1 StructureDefinition-us-core-careplan

このプロファイルは、[CarePlan](#) リソースの最小期待値を設定して、患者に関連付けられた検索およびフェッチ評価と治療計画データを記録します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-CarePlanプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者に属するケアプランのクエリ
- 既存のケアプランを記録または更新する

3.2.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各CarePlanには以下が必要です。

1. 患者の評価と治療計画の物語の要約
2. ステータス
3. 意図
4. 「評価計画」のカテゴリコード
5. 患者

3.18.1 StructureDefinition-us-core-careteam

このプロファイルは、患者に関連付けられたケアチームメンバーを識別するための[CareTeam](#) リソースに対する最小限の期待を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-CareTeamプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者のCareTeamのクエリ
- 患者のケアチームを記録または更新する

3.18.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）、または送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（[Must Support]定義）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義]は、正式な概要、定義、および用語の要件を示しています。

各**CareTeam**には以下が必要です。

1. 患者
2. 各ケアチームメンバーの参加者の役割
3. ケアチームメンバーの名前：
 - 開業医（医師、看護師、セラピスト）
 - 患者さん
 - 親relativeまたは友人または保護者
 - 組織

3.25.1 StructureDefinition-us-core-condition

このプロファイルは、[Condition](#) リソースに対する最小の期待値を設定して、患者に関連する問題と健康上の懸念のリストを記録、検索、および取得します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-Conditionプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者の現在または過去の問題のクエリ
- 患者の問題を記録または更新する

3.25.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各条件には以下が必要です。

1. 問題のステータス*
2. カテゴリー
3. 問題を識別するコード
4. 患者

*ステータス要素には次の制約があります。検証ステータスがエラーになっていない場合は存在し、検証ステータスがエラーになっている場合は存在しません。

3.17.1 StructureDefinition-us-core-device

このプロファイルは、患者に関連付けられたUDI情報を記録、検索、および取得するためのデバイスリソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、USコアデバイスプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者のデバイスのクエリ
- 患者デバイスを記録する

3.17.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各デバイスには次のものがが必要です。

1. リソースのタイプを識別するコード
2. 患者

さらに、送信システムにデータが存在する場合は、次のデータ要素をサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。

各デバイスは以下をサポートする必要があります：

1. Unique Device Identifier (UDI) の数字または英数字のコード
 - バーコードの人間読み取り可能フォーム (HRF) 文字列表現として
 - または、自動識別およびデータキャプチャ (AIDC) 表現。

3.24.1 StructureDefinition-us-core-diagnosticreport-lab

検査結果は、通常観察リソースを参照するDiagnosticReportリソースを使用してグループ化および要約されます。各観測リソースは、個々の実験室テストと結果値またはコンポーネント結果値、または他の観測値を参照する「ネストされた」パネル（微生物感受性パネルなど）を表します。レポート形式またはフリーテキストで表示することもできます。このプロファイルは、DiagnosticReportリソースが患者に関連付けられた検査結果を記録、検索、取得するための最小限の期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、検査結果レポート用の米国コアDiagnosticReportプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者に属するラポレポートのクエリ
- 特定の患者の検査報告書を記録する

3.24.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を**サポートする必要があります**）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の**正式なプロファイル定義**は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各DiagnosticReportには次のものがが必要です。

1. ステータス
2. 「LAB」のカテゴリコード
3. 測定対象を示すコード（できればLOINCコード）
4. 患者
5. 測定がいつ行われたかを示す時間
6. 測定がいつ報告されたかを示す時間
7. 少なくとも1つの構造化（観測参照）または非構造化（物語/テキストベース）結果

各DiagnosticReportは以下をサポートする必要があります。

1. レポートの発行者

3.7.1 StructureDefinition-us-core-diagnosticreport-note

このプロファイルは、[DiagnosticReport](#) リソースを使用して[診断](#) レポートとメモを検索および取得するための最小の期待値を設定します。このプロファイルは、必須のコア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用する場合DiagnosticReportで存在することを。

使用シナリオの例：

次に、診断レポートプロファイルの使用シナリオの例を示します。

- 特定の放射線医学ノート（例：84178-3 Interventional Radiology Note）のクエリ
- レポートのカテゴリのクエリ（すべての心臓病学レポートなど）

3.7.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各診断レポートには次のものがが必要です。

1. ステータス
2. カテゴリー
3. レポートのタイプを説明するコード
4. 患者
5. レポートが作成された日時

各診断レポートは以下をサポートする必要があります。

1. レポートが発生した出会い
2. レポートがリリースされた瞬間
3. レポートを作成する著者（俳優）
4. 画像
5. 完全なレポートへの参照（presentedForm）

3.15.1 StructureDefinition-us-core-documentreference

このプロファイルは、[DocumentReference](#) リソースを使用して、Clinical Notesを含む患者ドキュメントを取得および取得するための最小期待値を設定します。これは必須のコア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用する場合DocumentReferenceリソースで存在することがあります。

使用シナリオの例：

以下は、US Core DocumentReferenceプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者に属するすべてのドキュメントのクエリ
- 特定の臨床メモの種類の照会（例：退院概要や継続治療文書（CCD））
- 患者に属するすべての臨床ノートの照会
- 患者のカルテに新しいメモを書く

3.15.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各DocumentReferenceには以下が必要です。

1. ステータス
2. 文書カテゴリ
3. ドキュメントのタイプを説明するコード
4. 患者
5. ドキュメントのMIMEタイプ（つまりcontentType）
6. ドキュメントを取得できるアドレス（URLなど）またはコンテンツをインラインbase64エンコードデータとして

各DocumentReferenceは以下をサポートする必要があります。

1. DocumentReferenceのビジネス識別子（トランスクリプションシステムまたはEHRによって生成される可能性があります）
2. 参照が作成された日時
3. 著者
4. カストディアンと呼ばれる、ドキュメントを担当する組織。
5. ドキュメントの形式に関する特定の詳細を識別するコードーコンテンツのMIMEタイプに加えて
6. 参照されている患者エンカウンター
7. 臨床的に重要な日付

3.9.1 StructureDefinition-us-core-encounter

このプロファイルは、個々の患者の基本的な遭遇情報を記録、検索、および取得するための[Encounter](#)のリソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core Encounterプロファイルの使用シナリオの例です。

- 特定の患者との出会いのクエリ
- 最近の患者の出会いのクエリ
- 出会いを記録または更新する

3.9.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各エンカウンターには次のものがが必要です。

1. ステータス
2. 入院患者、外来患者、または緊急事態などの分類
3. 遭遇タイプ
4. 腹筋患者

各エンカウンターは以下をサポートする必要があります：

1. 遭遇識別子
2. 出会いに関わるプロバイダー
3. 出会いが起こったとき
4. 訪問の理由
5. 退院処分
6. 出会いが起こった場所

3.27.1 StructureDefinition-us-core-goal

このプロファイルは、患者に関連付けられた目標情報を記録、検索、および取得するための目標リソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-Goalプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者の目標の照会
- 患者の目標を記録または更新する

3.27.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）、または送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（[Must Support]定義）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義]は、正式な概要、定義、および用語の要件を示しています。

各目標には以下が必要です。

1. ステータス
2. 目標の説明文
3. 患者

各目標は以下をサポートする必要があります：

1. 対象日：

3.1.1 StructureDefinition-us-core-immunization

このプロファイルは、患者に関連付けられた予防接種履歴を記録、取得、検索するための[予防接種](#) リソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-Core Immunizationプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者に属する予防接種のクエリ
- 患者に属する予防接種を記録する

3.1.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各予防接種には以下が必要です。

1. ステータス*
2. 投与されたワクチンの種類を識別するワクチンコード
3. ワクチンが投与された日付
4. 患者

各予防接種は以下をサポートする必要があります。

1. ワクチンが投与されなかった場合の理由

3.3.1 StructureDefinition-us-core-observation-lab

検査結果は、[観察](#) リソースを参照する [DiagnosticReport](#) リソースを使用してグループ化および要約されます。各観測リソースは、個々の実験室テストと結果値、他の観測値を参照する「ネストされた」パネル（微生物感受性パネルなど）、またはまれにコンポーネントの結果値を含む実験室テストを表します。このプロファイルは、患者に関連する臨床検査結果を記録、検索、および取得するために、観察リソースリソースに対する最小の期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する **SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-Resultsプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者に属する検査結果のクエリ
- 患者に属する検査結果を記録する

3.3.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を [サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の [正式なプロファイル定義](#) は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各観測には以下が必要です。

1. ステータス
2. 「laboratory」のカテゴリコード
3. [LOINC](#) の 測定されているかを表示しますコード、利用可能な場合、
4. 患者

各オブザベーションは以下をサポートする必要があります：

1. 測定がいつ行われたかを示す時間
2. 結果値またはデータが存在しない理由
 - 結果値が数値の場合、標準の [UCUM](#) 単位

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- 観測コードまたはカテゴリコードに変換またはマップする追加コードが許可されます。例えば：
 - ローカルコードとLOINCコードの両方を提供する
 - 「実験室」カテゴリコードに加えて、「化学」、[SNOMED CT](#) コンセプト、またはシステム固有のコードなど、より具体的なカテゴリコードを提供します。

3.12.1 StructureDefinition-us-core-location

このプロファイルは、患者、医療提供者、または組織に関連付けられたロケーションを記録、検索、および取得するためのロケーションのリソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

3.12.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を**サポートする必要があります**）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の**正式なプロファイル定義**は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各ロケーションには以下が必要です。

1. 名前

各ロケーションは以下をサポートする必要があります。

1. Location.status
2. Location.name
3. Location.telecom
4. Location.address
5. 管理組織

3.14.1 StructureDefinition-us-Core-Medication

薬物を参照する場合、[MedicationStatement](#) および [MedicationRequest](#) リソースはコードを使用するか、[Medication](#) リソースを参照できます。このプロファイルは、検索リソースを検索し、患者に関連付けられた薬を取得するためのMedicationリソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

Medicationリソースのクエリは、MedicationStatementまたはMedicationRequestリソースクエリのコンテキスト内にあることが期待されています。以下は、US Core Medicationプロファイルの使用シナリオの例です。

- 特定のコードを使用した薬物のクエリ

3.14.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各医薬品には次のものがが必要です。

1. 投薬コード

3.28.1 StructureDefinition-us-core-medicationrequest

どちらも[MedicationRequest](#)と[MedicationStatement](#)リソースは、患者の服薬を記録するために使用することができます。使用法のコンテキストの詳細については、薬のドメイン境界セクションを[参照](#)してください。このプロファイルは、MedicationRequestリソースが患者に関連付けられた薬物を記録、検索、および取得するための最小の期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-MedicationRequestプロファイルの使用シナリオの例です。

- 特定の患者に処方された薬のクエリ
- 特定の患者に処方された薬を記録する

3.28.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各**MedicationRequest**には次のものがが必要です。

1. ステータス
2. 薬
3. 患者
4. 書かれた日付
5. 処方者

各**MedicationRequest**は以下をサポートする必要があります。

1. 処方シグ

3.11.1 StructureDefinition-us-core-medicationstatement

どちらも [MedicationRequest](#) と [MedicationStatement](#) リソースは、患者の服薬を記録するために使用することができます。使用法のコンテキストの詳細については、薬のドメイン [境界セクション](#) を参照してください。このプロファイルは、MedicationStatement リソースの最小期待値を設定して、患者に関連付けられた薬を記録、検索、取得します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する **SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-MedicationStatement プロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者が服用している有効な薬物を照会する
- 患者が服用している有効な薬物を記録または更新する

3.11.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を [サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の [正式なプロファイル定義](#) は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各 **MedicationStatement** には次のものがが必要です。

1. ステータス
2. 薬
3. 主張日
4. 患者

各 **MedicationStatement** は以下をサポートする必要があります。

1. 薬を服用した時間
2. MedicationStatement が別のリソースから派生したかどうか

3.23.1 StructureDefinition-us-Core-Organization

このプロファイルは、患者または医療提供者に関連付けられた組織の検索と取得に、組織のリソースに対する最小の期待を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-Organizationプロファイルの使用シナリオの例です。

- 組織名またはNPIによるクエリ

3.23.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各組織には以下が必要です。

1. 識別子（NPIなど）
2. 組織のステータス
3. 名前
4. 連絡先情報のリスト

各組織は以下をサポートする必要があります。

1. 通信エンドポイント

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- 組織の優先識別子は、National Provider Identifier（NPI）、またはラボの臨床検査改善修正法（CLIA）です。

3.1.1 StructureDefinition-us-core-patient

このプロファイルは、個々の患者に関する基本的な人口統計およびその他の管理情報を記録、検索、および取得するためのPatientリソースに対する最小限の期待を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core Patientプロファイルの使用シナリオの例です。

- 識別子の一種である医療記録番号（MRN）を使用して、患者の人口統計情報を照会します。MRNはidentifier.systemで識別可能であり、場所固有の場合があります。
- 名、姓、生年月日、性別を使用して、患者の人口統計情報を照会します。

3.1.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各患者には次のものがが必要です。

1. 患者ID（例：MRN）
2. 患者名
3. 性別*

各患者は以下をサポートする必要があります：

1. 連絡先の詳細（電話番号やメールアドレスなど）
2. 生年月日
3. アドレス
4. コミュニケーション言語
5. 競争
6. 民族
7. 出生性*

3.4.1 StructureDefinition-pediatric-bmi-for-age

このプロファイルは、患者に関連付けられた年齢および性別の観察ごとに小児肥満度指数（BMI）を記録、検索、および取得するために、[観察](#) リソースの最小期待値を設定します。これはFHIRに基づいている[バイタルサインプロファイル](#)と識別する追加の必須のコア要素、拡張、語彙及び値セット**SHALL**、このプロファイルを使用するときに観測リソースで存在することがあります。

使用シナリオの例：

以下は、年齢観察プロファイルの米國中核小児BMIの使用シナリオの例です。

- 小児患者に属するBMI観察のクエリ
- 小児患者に属するBMIの観察結果を記録する

3.4.1.1 必須および必須のデータ要素

FHIRバイタルサインプロファイルの必須でサポートするデータ要素に加えて、次のデータ要素は必須である（つまり、データが存在する必要がある）か、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（[Must Support](#)定義）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各観測には以下が必要です。

1. 年齢および性別測定ごとの小児BMIの固定コード
2. 結果値

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- 無し

3.4.1.2 例

- [年齢例の小児BMI](#)

3.26.1 StructureDefinition-小児科の身長体重

このプロファイルは、患者に関連付けられた身長と年齢の観察値の小児体重を記録、検索、および取得するための観測リソースの最小期待値を設定します。これはFHIRに基づいているバイタルサインプロファイルと識別する追加の必須のコア要素、拡張、語彙及び値セット **SHALL**、このプロファイルを使用するときに観測リソースで存在することがあります。

使用シナリオの例：

以下は、高さ観測プロファイルの米國中核小児体重の使用シナリオの例です。

- 小児患者に属する小児の体重観察のクエリ
- 小児患者に属する小児の体重の観察を記録する

3.26.1.1 必須および必須のデータ要素

FHIRバイタルサインプロファイルの必須でサポートするデータ要素に加えて、次のデータ要素は必須である（つまり、データが存在する必要がある）か、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（**Must Support**定義）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の**正式なプロファイル定義**は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各観測には以下が必要です。

1. 身長と年齢の測定のための小児の体重の固定コード
2. 結果値

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- 無し

3.26.1.2 例

- [身長に対する小児の体重の例](#)

3.6.1 StructureDefinition-us-core-practitioner

このプロファイルは、個々の開業医に関する基本的な人口統計およびその他の管理情報を記録、検索、および取得するための、[開業医](#) リソースに対する最小限の期待を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

US Core-Practitionerプロファイルの使用シナリオの例を以下に示します。

- 名前またはNPIによる開業医の照会
- 他のリソースからの参照

3.6.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各開業医には以下が必要です。

1. 利用可能な場合、NPIをサポートする必要がある識別子。
2. 名前

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- このプロファイルは、[US Core Serverの適合要件](#)やプロバイダーディレクトリ機能ステートメントなど、さまざまな機能ステートメントによって参照される場合があります。

3.2.1 StructureDefinition-us-core-practitionerrole

3.2.1.0.0.0.1 範囲と使用法

このプロファイルは、[プラクティショナーのプラクティショナーの](#)役割を記録、検索、および取得するための [PractitionerRole](#) リソースの最小期待値を設定します。これは必須のコア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する **SHALL**、このプロファイルを使用する場合 PractitionerRole リソースで存在することがあります。US Core Practitionerの要件は [Argonaut Provider Directory](#)、[IHE Healthcare Provider Directory](#) および [ONC Provider Directory Workshop](#) から引き出されました。

3.2.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を [サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の [正式なプロファイル定義](#) は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各 **PractitionerRole** には以下が必要です。

1. 関連する開業医
2. 関連組織

各 **PractitionerRole** は以下をサポートする必要があります。

1. 役割
2. 専門
3. 関連する場所
4. 連絡先
5. 通信エンドポイント

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- PractitionerRole.endpoint は、[直接アドレス](#) を表すことができる場所です。
- クライアントは、を使用して、サーバーが Practitioner リソースと Endpoint リソースを返すように要求できます `_include`。 [クイックスタート](#) をご覧ください。

3.13.1 StructureDefinition-us-core-procedure

このプロファイルは、患者に関連付けられた手順を記録、検索、および取得するための[手順](#)リソースの最小期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する**SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

US Core-Procedureプロファイルの使用シナリオの例を以下に示します。

- 患者に対して実行された手順のクエリ
- 患者に実行された手順を記録する

3.13.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各プロシージャには次のものがが必要です。

1. ステータス
2. 患者に対して行われた処置の種類を識別するコード
3. 患者
4. 手順が実行されたとき

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- 2015年版の認定要件に基づいて、SNOMED-CTまたはCPT-4 / HCPC手順コードのいずれかが必要であり、[ICD-10-PCSコード](#)はそれらへの変換としてサポートされる場合があります。主に歯科処置を選択する場合は、[歯科処置および命名法に関するコード（CDTコード）](#)を使用できます。
- 移植可能なデバイスを含む手順は**SHOULD**使用 [Procedure.focalDevice](#) を参照して、[米国コアデバイスプロファイル](#)。

3.21.1 StructureDefinition-us-core-smokingstatus

このプロファイルは、患者に関連付けられた喫煙状況データを記録、検索、および取得するために、[観測](#) リソースに対する最小の期待値を設定します。それは、コア要素、拡張、語彙及び値セットを識別する **SHALL**、このプロファイルを使用するときにリソースで存在します。

使用シナリオの例：

以下は、US Core-SmokingStatusプロファイルの使用シナリオの例です。

- 患者の喫煙状況の照会
- 患者の喫煙状況を記録または更新する

3.21.1.1 必須および必須のデータ要素

次のデータ要素は必須です（つまり、データが存在する必要があります）。または、送信システムにデータが存在する場合はサポートする必要があります（定義を[サポートする必要があります](#)）。それらは、人間が読める簡単な説明で以下に示されています。プロファイル固有のガイダンスと例も提供されます。以下の[正式なプロファイル定義](#)は、正式な概要、定義、および用語の要件を提供します。

各観測には以下が必要です。

1. ステータス
2. 喫煙観察のためのコード
3. 患者
4. 喫煙状況が記録された日付を表す日付
5. 喫煙状況の結果値コード

プロファイル固有の実装ガイダンス：

- 喫煙観察LOINC = 72166-2 タバコの喫煙状態NHIS

US core Extensions

3.1.2 Extensions

The following [Extensions](#) have been defined as part of the US Core implementation Guide. A [registry of standard extensions](#) can be found in the FHIR specification and additional extensions may be registered on the HL7 FHIR registry at <http://hl7.org/fhir/registry>.

- [US Core Birth Sex Extension](#)
- [US Core Direct email Extension](#)
- [US Core Ethnicity Extension](#)
- [US Core Race Extension](#)

US core Extensions : Birth Sex

5.18.1.1 Expansion

This value set contains 3 concepts

Expansion based on <http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-AdministrativeGender> version 2018-08-12, <http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-NullFlavor> version 2018-08-12

Code	System	Display	Definition
F	http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-AdministrativeGender	Female	Female
M	http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-AdministrativeGender	Male	Male
UNK	http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-NullFlavor	Unknown	Description: A proper value is applicable, but not known. Usage Notes: This means the actual value is not known. If the only thing that is unknown is how to properly express the value in the necessary constraints (value set, datatype, etc.), then the OTH or UNC flavor should be used. No properties should be included for a datatype with this property unless: Those properties themselves directly translate to a semantic of "unknown". (E.g. a local code sent as a translation that conveys 'unknown') Those properties further qualify the nature of what is unknown. (E.g. specifying a use code of "H" and a URL prefix of "tel:" to convey that it is the home phone number that is unknown.)

US CORE <https://simplifier.net/US-Core>

[Introduction](#)[Resources](#)[Guides](#)[Members](#)[Log](#)[Dependencies](#)[Packages](#)

Search

▼ Resource Categories

or

not

☒ Profiles

☐ ValueSets

☐ CodeSystems

☐ Extensions

☐ SearchParameters

☐ CompartmentDefinitions

☐ CapabilityStatements

☐ OperationDefinitions

☐ NamingSystems

☐ ConceptMaps

☐ StructureMaps

☐ ImplementationGuides

☐ TestScripts

☐ DataElements

☐ GraphDefinitions

☐ ExtensionProfiles

Order By: Rank Score (Descending) ▼

US Core AllergyIntolerance Profile

Profile on AllergyIntolerance

StructureDefinition

Draft

2017/9/8

US Core CarePlan Profile

Profile on CarePlan

StructureDefinition

Draft

2017/9/8

US Core CareTeam Profile

Profile on CareTeam

StructureDefinition

Draft

2017/9/8

US Core Condition (a.k.a Problem) Profile

Profile on Condition

StructureDefinition

Draft

2017/9/8

US Core Device Profile

Profile on Device

StructureDefinition

Draft

2017/9/8

相互運用性に関する米国のコアデータと2015年版の共通臨床データセット

U.S. Core Data for Interoperability and 2015 Edition Common Clinical Data Set

- USコアプロファイルは、当初、患者選択170.315 (g) (7) およびアプリケーションアクセス-データカテゴリ要求170.315 (g) (8) の2015年版の認定基準を満たすように設計されました。
- これらは、[2015年版Common Clinical Data Set \(CCDS\)](#) の各アイテムに対して作成されました。場所、組織、および施術者のプロファイルは、認定基準で具体的には呼び出されませんが、他のプロファイルによって直接参照されるため含まれています。
- 米国のコアプロファイルは、以前の[データアクセスフレームワーク](#)と[Argonautデータクエリ](#)実装ガイドによって通知されます。
- ただし、このプロファイルはスタンドアロンであり、提案されている最新のONC [US相互運用性コアデータ \(USCDI\)](#) の新しい要件が含まれています。すべての[API Resource Collection in Health \(ARCH\)](#) リソースが含まれます。

The table below lists the US Core Profile and FHIR Resources used for the corresponding USCDI Data elements:

The table below lists the US Core Profile and FHIR Resources used for the corresponding USCDI Data elements:

USCDI v1 Summary of Data Classes and Data Elements	US Core Profile	FHIR Resource
Assessment and Plan of Treatment	US Core CarePlan Profile	CarePlan
Care Team Members	US Core CareTeam Profile	CareTeam
Clinical Notes:		
Consultation Note	US Core DocumentReference Profile	DocumentReference
Discharge	US Core DocumentReference Profile	DocumentReference
Summary Note	US Core DocumentReference Profile	DocumentReference
History & Physical	US Core DocumentReference Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Report and Note exchange	DocumentReference, DiagnosticReport
Imaging Narrative	US Core DocumentReference Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Report and Note exchange	DocumentReference, DiagnosticReport
Laboratory Report Narrative	US Core DocumentReference Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Report and Note exchange	DocumentReference, DiagnosticReport
Pathology Report Narrative	US Core DocumentReference Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Report and Note exchange	DocumentReference, DiagnosticReport
Procedure Note	US Core DocumentReference Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Report and Note exchange	DocumentReference, DiagnosticReport
Progress Note	US Core DocumentReference Profile	DocumentReference
Consultation Note	US Core DocumentReference Profile	DocumentReference
Goals:		
Patient Goals	US Core Goal Profile	Goal
Health Concerns	US Core Condition Profile	Condition
Immunizations	US Core Immunization Profile	Immunization
Laboratory:		

USCDI v1 Summary of Data Classes and Data Elements	US Core Profile	FHIR Resource
Health Concerns	US Core Condition Profile	Condition
Immunizations	US Core Immunization Profile	Immunization
Laboratory:		
Tests	US Core Laboratory Result Observation Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Laboratory Results Reporting	Observation, DiagnosticReport
Values/Results	US Core Laboratory Result Observation Profile , US Core DiagnosticReport Profile for Laboratory Results Reporting	Observation, DiagnosticReport
Medications:		
Medications	US Core Medication Profile , US Core Medication Statement Profile , US Core Medication Request Profile	Medication, MedicationStatement, MedicationRequest
Medication Allergies	US Core Allergies Profile	AllergyIntolerance
Patient Demographics:		
First Name	US Core Patient Profile	Patient.name.given
Last Name	US Core Patient Profile	Patient.name.family
Previous Name	US Core Patient Profile	Patient.name
Middle Name (including middle initial)	US Core Patient Profile	Patient.name.given
Suffix	US Core Patient Profile	Patient.name.suffix
Birth Sex	US Core Patient Profile	US Core Birth Sex Extension
Date of Birth	US Core Patient Profile	Patient.birthDate
Race	US Core Patient Profile	US Core Race Extension
Ethnicity	US Core Patient Profile	US Core Ethnicity Extension
Preferred Language	US Core Patient Profile	Patient.communication
Address	US Core Patient Profile	Patient.address
Phone Number	US Core Patient Profile	Patient.telecom
Problems	US Core Condition Profile	Condition
Procedures	US Core Procedure Profile	Procedure

USCDI v1 Summary of Data Classes and Data Elements	US Core Profile	FHIR Resource
Author	-	-
Author Time Stamp	-	-
Author Organization	-	-
Smoking Status	US Core Smoking Status Observation Profile	Observation
Unique Device Identifier(s) for a Patient's Implantable Device(s)	US Core Device Profile	Device
Vital Signs:		
Diastolic blood pressure	Blood pressure systolic and diastolic (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Systolic blood pressure	Blood pressure systolic and diastolic (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Body height	Body height (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Body weight	Body weight (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Heart rate	Heart rate (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Respiratory rate	Respiratory rate (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Body temperature	Body temperature (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Pulse oximetry	Oxygen saturation (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation
Inhaled oxygen concentration	-	-
BMI percentile per age and sex for youth 2-20	US Core Pediatric BMI for Age Observation Profile	Observation
Weights for age per length and sex	US Core Pediatric Weight for Height Observation Profile	Observation
Occipital-frontal circumference for children < 3 years old	Head circumference (From FHIR Core Profiles for Observation)	Observation

2.1.1.3 Must Support

- US Core Respondersは、[US Core Server Capability Statement](#)で指定されているクエリ結果の一部としてデータ要素を含めることができます（SHALL）。
- US Core Requestorsは、エラーを生成したり、アプリケーションを失敗させたりすることなく、データ要素を含むリソースインスタンスを処理できなければなりません。つまり、US Core Requestorsは、人間が使用するためにデータ要素を表示したり、他の目的のためにそれを保存したりする必要があります。
- 特定のデータ要素に関する情報が存在せず、不在の理由が不明な状況では、US Core Respondersは、クエリ結果の一部として返されるリソースインスタンスにデータ要素を含めないでください。
- US Core Responderを照会する場合、US Core Requestorsは、リソースインスタンス内の欠落データ要素をUS Core Responderのシステムに存在しないデータとして解釈するものとします（SHALL）。
- 特定のデータ要素の情報が欠落しており、US Core Responderがデータの不在の正確な理由を知っている状況では、US Core Responderは、値セットの値（`nullFlavors`など）を使用して、欠落した情報の理由を送信する必要があります存在するか、`dataAbsentReason`拡張を使用します。
- USコアリクエスターは、欠落情報を主張するデータ要素を含むリソースインスタンスを処理できる必要があります。

2.2.1.1 Clinical Notes 臨床ノート

- 臨床メモは、患者の現在の状態を伝える重要なコンポーネントです。この実装ガイドのコンテキストでは、「臨床メモ」という用語は、多くのケア活動で患者に代わって生成される多種多様なドキュメントを指します。
- それらには、ケアの移行、ケア計画、品質報告、請求書、さらにはプロバイダーによる手書きのメモまでもが含まれています。
- この実装ガイドでは、新しいノートタイプを定義したり、ノートタイプごとにコンテンツ要件を設定したりしません。
- 代わりに、この実装ガイドは、既存のシステムに保存された臨床ノートの公開に焦点を当てています。

2.2.1.1 Clinical Notes 続き

- Specifically, this implementation guide defines the exchange of the following five “Common Clinical Notes”.
- [Consultation Note \(11488-4\)](#)
- [Discharge Summary \(18842-5\)](#)
- [History & Physical Note \(34117-2\)](#)
- [Procedures Note \(28570-0\)](#)
- [Progress Note \(11506-3\)](#)
- and SHOULD support the DiagnosticReport categories:
- [Cardiology \(LP29708-2\)](#)
- [Pathology \(LP7839-6\)](#)
- [Radiology \(LP29684-5\)](#)

2.2.1.2 臨床ノートを交換するためのFHIRリソース FHIR Resources to Exchange Clinical Notes

- [US Core DocumentReferenceプロファイル](#)と[US Core DiagnosticReportプロファイル](#)は、臨床ノートの交換をサポートします。（これらのリソースを使用する決定の詳細については、[リソースの選択](#)を参照してください。）
- DocumentReferenceは、叙述文が特定のオーダやレポート（プログレスノートやディスチャージサマリノートなど）よりも広い場合に最適です。DocumentReferenceリソースは、患者の短い2～3文のステータスを指すか、叙述文と構造化情報の両方を含んでいるような複雑なCDAまたは構成ドキュメントを参照する場合に最適な選択です。
- DiagnosticReportは、システムが構造化情報またはコード化された解釈を共有する必要がある場合に最適です。DiagnosticReport.result要素が構造化情報をサポートしており、全体の叙述レポートはDiagnosticReport.presentedForm要素で表すことができる。

2.2.1.2 臨床ノートを交換するためのFHIRリソース FHIR Resources to Exchange Clinical Notes（続き）

- 基盤となるリソースの範囲が重複しており、システム実装のばらつきがあるため、スキャンされたレポートまたは叙述文だけのレポートを表すためのベストプラクティスはありません。
- レポートは、図1の緑の領域で示すように、**DocumentReference**または**DiagnosticReport**で表されます。たとえば、一部のシステムは、スキャンされたレポートまたはノートをすべて、**DocumentReference**とします。
- 他のシステムでは、ユーザーはスキャンされたレポートを**Lab**として分類し、**DiagnosticReport**に保存します。[1](#)

DiagnosticReport and DocumentReference Report Overlap

Figure 1: DiagnosticReport and DocumentReference Report Overlap

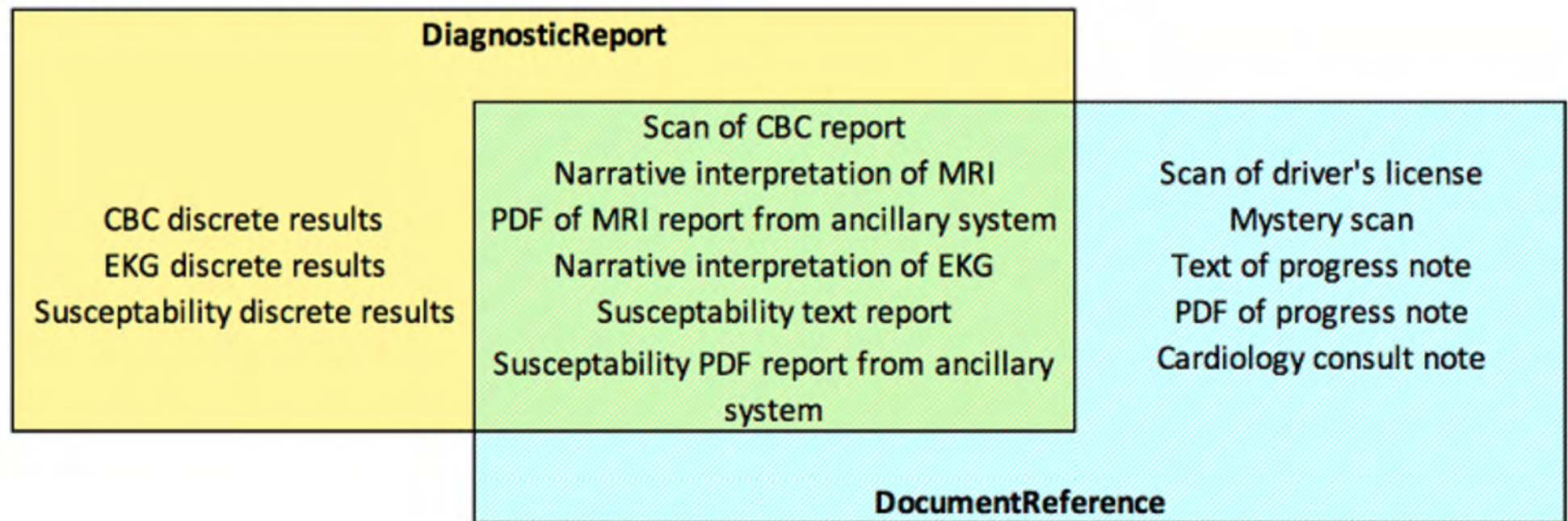
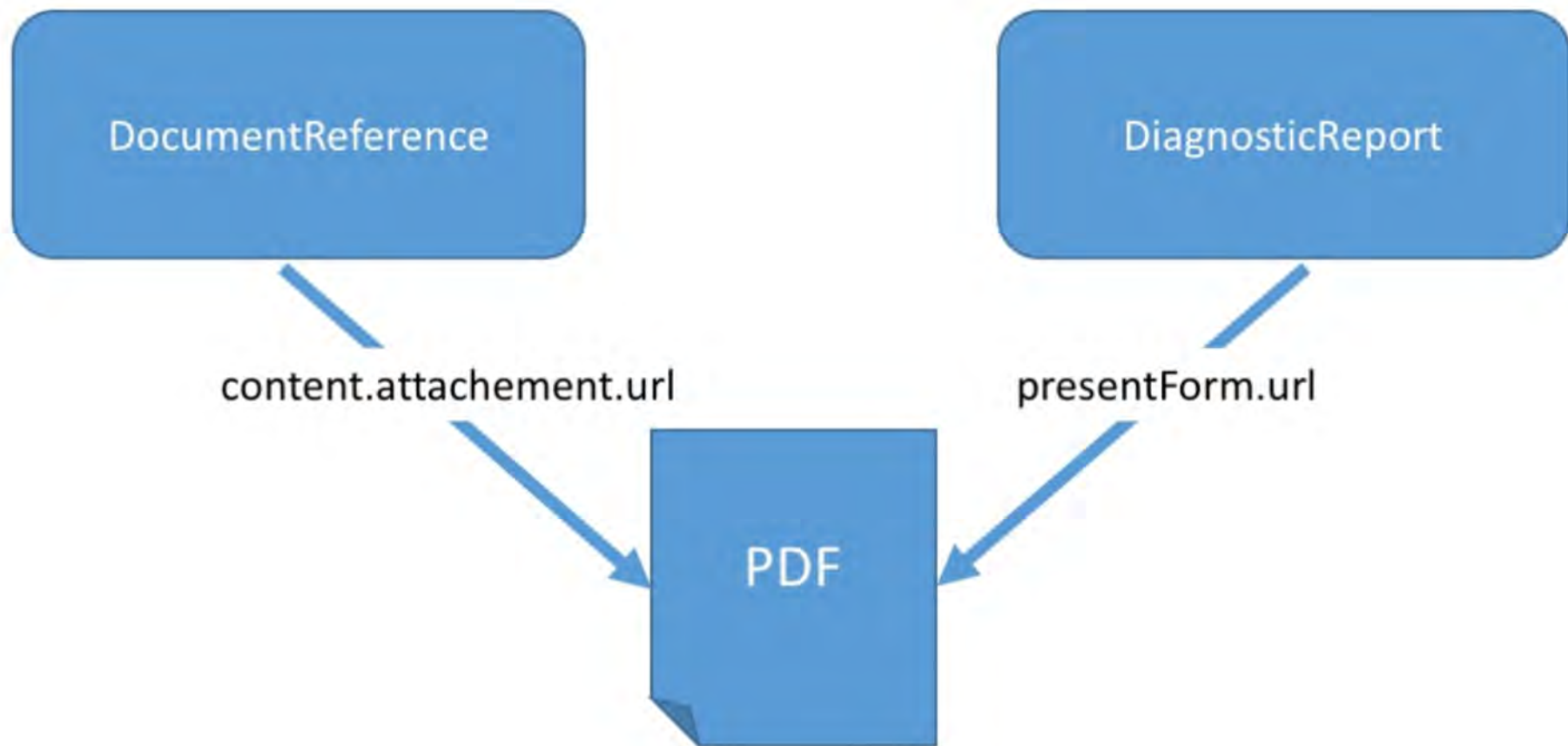


Figure 2: Expose a PDF Report Through Both DiagnosticReport and DocumentReference



- スキャンされた叙述文だけからなる臨床レポートに一貫したアクセスを可能にするため、**Argonaut**臨床ノートサーバは、これらのレポートを下記の対応する要素を使用した同じアタッチメントURLを表す**DiagnosticReport**と**DocumentReference**の両方によって提供しなければならないとされている。
- この方法でコンテンツを公開することにより、クライアントは患者が利用できるすべての臨床情報を受け取り、重複データを簡単に識別できます。
 - **DocumentReference.content.attachment.url**
 - **DiagnosticReport.presentedForm.url**